

新フェロー紹介 (2021年)

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー6名の方が理事会で以下のとおり選ばれました。フェロー記は、2021年4月27日の総会にて贈呈されました。

飯塚 秀明 (いづか ひであき) 氏



【学歴】

平成 14年 東京工業大学大学院情報理工学研究科修士課程修了
平成 17年 博士 (理学) 東京工業大学

【職歴】

平成 17年～平成 19年 東京工業大学大学院情報理工学研究科 補佐員
平成 19年～平成 20年 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
平成 20年～平成 25年 九州工業大学ネットワークデザイン研究センター 准教授

平成 25年～平成 31年 明治大学理工学部 准教授

平成 31年～現在 明治大学理工学部 教授

【OR学会関連】

平成 26年 第4回研究賞奨励賞受賞

平成 30年～現在 研究普及委員

令和 1年 第9回研究賞受賞

飯塚氏は、凸最適化問題、変分不等式問題、不動点問題などの基本的な非線形問題に対する反復法の理論と実用に関する研究に取り組み、著作論文が最適化分野の国際学術専門誌に数多く採択されている。本学会関係では、連続最適化とその通信ネットワークへの応用研究により、2014年には第4回研究賞奨励賞、2019年には第9回研究賞を受賞している。近年では、連続最適化と機械学習の架け橋となる研究に取り組んでいる。

笠原 正治 (かさはら しょうじ) 氏



【学歴】

平成 3年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

平成 5年 京都大学大学院工学研究科博士課程退学

平成 8年 博士 (工学) 京都大学

【職歴】

平成 5年 京都大学情報処理教育センター 助手

平成 9年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 助手

平成 10年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 助教授

平成 17年 京都大学大学院情報学研究科 助教授 (平成 19年より准教授)

平成 24年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 教授

平成 30年 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授、現在に至る

【OR学会関連】

平成 14～16年 「待ち行列」研究部会 幹事

平成 15～令和元年 関西支部 運営委員

平成 16～20年, 平成 27～31年 論文誌編集委員

平成20年	春季研究発表会 実行委員
平成27～29年	「不確実性環境下の意思決定モデリング」研究部会 主査
平成30～令和2年	「待ち行列」研究部会 主査
平成30年～現在	代議員
令和元～3年	関西支部 副支部長
令和2年	春季研究発表会 実行委員長
令和3年～現在	関西支部 支部長

笠原氏は、性能評価、情報通信などに関する研究を精力的に行っており、2020年のInternational Teletraffic Congressでは基調講演を行っている。また、解説論文などを多数執筆し、ORの普及と後進の育成に尽力されている。本学会においては、待ち行列研究部会、不確実性環境下の意思決定モデリング研究部会の主査を務め、春季研究発表会では実行委員（2008年、2014年）、実行委員長（2020年）、を歴任されている。さらに関西支部副支部長、代議員を務められるなど、学会運営においても多大な貢献を果たしている。

神山 直之（かみやま なおゆき）氏



【学歴】

平成16年3月 京都大学工学部建築学科卒業
 平成18年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
 平成21年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程修了（博士（工学））

【職歴】

平成21年4月～平成23年9月 中央大学理工学部情報工学科 助教
 平成23年10月～令和元年6月 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授
 令和元年7月～現在 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 教授

【OR学会関連】

平成22年 第38回文献賞
 平成22年～平成24年 機関誌編集委員
 平成24年～現在 九州支部幹事
 平成27年 秋季発表会実行委員
 平成30年～現在 研究普及委員

神山氏は、離散最適化の理論とその社会への応用に関する研究に取り組んでおり、有向グラフ上の有向木の詰込み問題に関する研究によって2010年には本学会文献賞を受賞している。近年は、特に安定マッチング問題に対するマトロイドを用いたアプローチや、企業と共同研究による社会における離散最適化技術の活用に関する研究を行っている。また、本学会関係では機関誌編集委員、研究普及委員、九州支部幹事などを務めるなど、学会運営においても貢献している。

品野 勇治（しなの ゆうじ）氏



【学歴】

平成6年 東京理科大学大学院工学研究科修士課程修了
 平成9年 博士（工学）東京理科大学

【職歴】

平成9年～平成11年 東京理科大学工学部第二部経営工学科 助手
 平成11年～平成16年 東京農工大学工学部情報コミュニケーション工学科 講師
 平成16年～平成19年 東京農工大学大学院共生科学技術研究部 助教授

平成19年～平成22年 東京農工大学大学院共生科学技術研究部 准教授
平成22年～現在 Zuse Institute Berlin 研究員

【OR学会関連】

平成11年～平成15年 研究普及委員
令和1年 第9回研究賞

品野氏は、長年に渡って、整数計画問題の厳密解法である分枝限定法を並列計算機によって解くという試みに挑戦し、アルゴリズム・実装の両分野で大きな成果を挙げてきた。その業績は世界的に評価され、品野氏の実装した並列計算機用ソルバーは並ぶものがないものとして認められている。2019年には、本学会の研究賞を受賞されている。整数計画問題の分枝限定法について、日本の研究者の貢献が望まれている中、品野氏はドイツZIB研究所で活躍され、大きな成果を挙げている。

田中 環 (たなか たまき) 氏



【学歴】

昭和59年3月 新潟大学理学部数学科卒業
昭和61年3月 新潟大学大学院理学研究科修士課程修了
平成4年9月 博士(理学)新潟大学

【職歴】

昭和63年7月 弘前大学理学部 助手
平成5年4月 弘前大学理学部 講師

平成7年10月 弘前大学理学部 助教授
平成9年10月 弘前大学理工学部 教授
平成13年3月 新潟大学大学院自然科学研究科 教授
平成13年4月 新潟大学理学部 教授
平成16年4月 新潟大学自然科学系 教授、現在に至る

【OR学会関連】

平成14年～現在 数理計画法(RAMP)研究部会 運営委員
平成15年～平成17年 研究普及委員
平成28年 第28回RAMPシンポジウム 実行委員長
令和元年～現在 東北支部監事
令和3年～現在 大会理事

田中氏は凸解析学や多目的最適化理論を専門とし、特に、ベクトル最適化・集合値最適化および集合最適化などに関する研究に取り組み、論文が国際学術専門誌に数多く採択されている。また、OR事典2000、経営科学OR用語大事典などを執筆し、ORの普及に尽力されている。本学会では、数理計画法運営委員、研究普及委員、東北支部監事などを歴任され、2016年に第28回RAMPシンポジウムの実行委員長として貢献した。さらに、本学会2016年秋季シンポジウムおよび秋季研究発表会の実行委員を務め、現在も東北支部の中心メンバーとして活躍されている。

米沢 隆 (よねざわ たかし) 氏



【学歴】

平成元年 京都大学理学部卒業 (学士)

【職歴】

平成元年 日本アイ・ビー・エム株式会社 入社

平成11年 ビジネス最適化製品の開発を担当

平成20年 グローバル・ビジネス・サービス事業に異動

令和 3年 IBM Distinguished Engineer (技術理事) 就任

【OR学会関連】

平成17～26年 研究普及委員

平成20～22年, 24～26年 代議員

平成22～24年 研究普及理事

平成22～24年 広報委員

平成26～28年 広報理事

米沢氏は、オペレーションズ・リサーチの各種手法を駆使して、ビジネス最適化業務に従事されてきた。具体的には、配送経路計画、海上コンテナ輸送計画、航空機貨物搭載位置最適化などの物流領域に加え、生産拠点配置や生産計画最適化、在庫最適化とサプライ・チェーン・マネジメント全般における業績がある。2013年には、INFORMSのEdelman Award Finalistに選出されている。本学会では、研究普及理事、広報理事、代議員を歴任され、ORの実務への活用に大きく貢献した。